

令和8年フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺消長(2)中南信

農業農村支援センター、試験場で実施したフェロモントラップによるオオタバコガ誘殺消長調査の結果です。

(農業農村支援センター調査データは7日間隔で調査したものを5日間隔に補正してあります。)

【コメント】

- ・塩尻市では、平年よりも発生は早く、7月第1半旬の誘殺ピーク以降は平年よりも少ない誘殺数で推移したが、8月第1半旬で急増している。
- ・松川村では、6月第1半旬と7月第1半旬と第5半旬に誘殺ピークがみられ、平年よりも多い誘殺数で推移している。
- ・富士見町では、平年よりも発生は早く、6月第6半旬からの誘殺数は平年よりも少なかったが、7月第6半旬から急増し、8月第2半旬に誘殺ピークとなっている。
- ・茅野市では、平年よりも発生はやや早く、誘殺数は7月第3半旬から急増して平年よりも多くなったが、8月第1半旬以降は減少している。
- ・伊那市では、5月第6半旬、7月第4半旬に誘殺ピークがあり、誘殺数は8月第1半旬以降、平年よりも少なく推移している。
- ・駒ヶ根市では、6月第2半旬に誘殺ピークがあり、以降は平年並～やや少ない誘殺数で推移している。
- ・阿南町では、6月第4半旬から誘殺数が急増して第6半旬で誘殺ピークとなり、その後は減少して、平年並み～やや少なく推移している。



